

## 「福澤先生お世話になります」

中津市長 奥塚 正典

福澤諭吉先生に本当にお世話になっています。私の名刺のデザインは、先生の写真と「学問ノススメ」。日本中どこに行っても、これで中津のことを知っていただけます。お札の肖像はもちろん、日本の近代化に果たした先生の貢献の大きさは言うまでもありません。

中津市の校歌を調べると、「独立自尊」「福翁の教え」「福澤精神」など関係のある歌詞が多く出てきます。福澤諭吉記念全国高校弁論大会は55回を数える全国屈指の大会です。福澤旧邸は中津が誇る歴史遺産であり、観光拠点にもなっています。

ところが、福澤先生のことを話題にすればするほど、先生のことを知らない自分に気がかされます。最近「福翁自伝」を読み返しました。若い頃「封建の門閥制度は親のかたき」とその不合理を嫌い、残念なことに中津を抜け出してしまいます。が、故郷（ふるさと）中津への思いは深く、地元「中津市学校」を設立、多くの中津出身の子弟を育て福澤人脈を築き上げます。

一番興味を引くのは、先生の真面目さとダイナミックな生き方の両立です。漢学、蘭学、英学と熱心に学び、心にある余裕をもって社会を直視する一方、咸臨丸で訪米するなど生死をかけた大胆果敢な行動をとります。その上に並外れて酒好きで体も丈夫。正直、言動に何とも言えない茶目っ気があり親しみが湧きます。

福澤先生のご縁で慶應義塾大学とのつながりも続きます。中津市で歴史講座を開いたり、



水上スキー部が合宿を張ったりしています。また、ひ孫に当たる福澤武さん（日本経済新聞平成28年4月「私の履歴書」連載）を東京にお訪ねしました。「今の日本に福澤がいたら何と言うのか聞いてみたい」と話されていました。

郷土の偉人福澤先生の遺徳を偲びつつ、厚かましいことながら、これからとも何かにつけ頼りにさせていただきます。来年は明治維新150周年、お世話になりついでにお尋ねします。「福澤先生、今の中津はどうですか。」